

センター通信

平成 23 年 10 月 1 日

東日本大震災発生から 6 か月が経過しましたが、支援センターでは様々な方との出会いがありました。

まず、センター通信臨時号に取り上げました、原さんとの出会いです。4 月 8 日、原さんから「今夜、東北に支援物資を届けたい。通行許可証のようなものを発行していただけますか？」と尋ねられました。しかし、支援センターを連絡先とするぐらいで、十分な支援はできませんでしたが、それ以来、震災の状況を詳しく知る事になりました。



6 月には、「うちわ 250 本を災害地に送りたい」と水彩画のグループの方から依頼を受け、東北に災害物資を輸送している団体にお願ひしました。

7 月下旬、太宰府市在住の方からは「父のために使っていた、車いすを乗せて移動できる乗用車を被災地に寄贈したいのですが・・・」と相談を受けました。



スタッフがいろいろ調べた末に、原さんに連絡。原さんと直接話をさせていただき、原さんが 9 月 27 日に、塩を分解する菌を水田に散布するため、東北に行く際にその車に乗って行き、寄贈することで話がまとまりました。

このような経験の末、東日本大震災のボランティア体験をした方からの報告会を「災害ボランティア研修会」として、6 月から 11 月まで、毎月 1 回で合計 6 回開催することになり、現在実施中です。

支援センタースタッフは、何事も市民の目線に立ち、積極的に接して解決するという姿勢で、相談に対応させていただいています。

今後とも、私たちは様々な課題をいろいろな方たちと協働して解決することを目指していきます。みなさんのご協力よろしくお願ひします。

11 月 19 日 (土) 15 時～17 時 いきいき情報センター 208 号室にて、宮城県に災害ボランティアに行った、ボーイスカウト筑紫に所属する高校生を招いて、「災害ボランティア研修会」を行います。

高校生の目線から見た、ボランティア・現地の様子など、体験者の声を聞きに来ませんか？

私たちの体験

ボーイスカウト筑紫第二団 行武 壮気

3月11日、学校から帰った僕は、テレビを見て驚愕しました。激しく揺れる高層ビル、家や車を無差別に呑み込んでいく津波、そして必死に非難する人々。全てがこの世のものとは思えない光景でした。その日から増え続ける行方不明者や死者。そんな状況の中を同じ年くらいの人々が生き抜いていると考え、いてもたってもいられませんでした。被災地へボランティアに一刻も早く行きたいという気持ちが募りました。

僕は、ボーイスカウト筑紫第二団に所属していて、所属団の隊長が阪神淡路大震災の際にボランティアに行ったという話を聞いたことがありました。その話を思い出して、僕も被災地にボランティアへ行きたいと、家族に提案しました。家族は快く背中を押してくれました。次に、隊長とボーイスカウト活動をともし行っている仲間に相談しました。隊長や仲間たちも快く賛成してくれました。それから太宰府市のボランティアセンターの方々に東北での活動の受け入れ先や交通手段などを紹介していただきました。また、さまざまなボーイスカウト関係者の方々の協力を得て、時間はかかりましたが震災から約四ヶ月後、ついに宮城県亶理町へ行くことが決まりました。



僕達は高校生5人、大人3人での活動になりました。先発隊、後発隊に分かれて亶理町へと向かいました。先発隊は7月25日から26日にかけて車で行ったのですが、早朝、車の中で震度5の地震に遭いました。現地に着いてすぐのことだったので、正直それからの活動が不安になりました。



活動1日目は津波によって流された写真の洗浄作業でした。泥がついたままだと、バクテリアが付着することで、写真が白くなってしまいうのです。2, 3, 4日目は地震・津波によって被害に遭った家の床はがし・壁はがしの作業でした。テレビ等で見る光景がそこには広がっていました。

今回のボランティア活動で様々な人に出会いました。ボランティアセンターに宿泊して活動している人々や、現地の人々。僕が出会ったその人たちは皆、笑っていました。失ったものは測り知れない程あるのに、笑っていました。

その笑顔が僕にぬくもりをくれました。僕達が亶理町に行く際、家族やボランティアセンター、ボーイスカウト関係者が支えてくれたように、現地の人々も笑い合い、支え合っていました。

僕達が活動した人数や期間は実質、決して多いものではありません。故に、できたことも少ないです。僕達ができることは、これからも被災地に目を向け続け、今回の活動で培った経験を普段の生活に生かすことと、何よりもボランティア活動が僕達高校生にもできたんだということを周囲に広めていくことだと思います。そして、僕達自身、これからもあらゆるボランティア活動を続けていきたいです。

参加者・・・ボーイスカウト筑紫第二団隊長・武末健志 副長・戸高宗徳

春日第三団隊長・郡島三暁 池上浩幸 塩入太貴 弘瀬康博 藤森慎弥 行武壮気



～みんなの広場～



【打ち水ボランティアに参加して】

7月31日に打ち水のボランティアに参加しました。この日は、とても暑かったです。

まず、持参したゆかたを着つけしてもらい、会場の五条駅に行きました。最初は、竹風鈴を作りました。糸を通すのがとても難しかったです。自分のを作った後は、みんなに作り方を教えてあげました。

4時になるとみんなでおけやたらいの水をいっせいにまきました。この水は、ためた雨水を使い、約1000リットルをみんなで分けて、まきました。あっという間に水はなくなりました。小さな男の子たちは、はしゃいで楽しそうでした。

温度計で水をまく前の気温は39度でした。だんだん冷たい風がきました。みんなで水をまいた後の気温を計ってみるとなんと34度でした。5度も下がるとは思ってもなくて、すごくびっくりしました。ボランティアの仕事はあまりできてなかったですが、打ち水に参加させてもらって涼しさを実感しました。家でもお風呂の残り湯でやってみたいと思います。ボランティア支援センターのみなさんありがとうございました。楽しかったです。



【R・Hさん 中学1年生】



【太宰府打ち水大作戦 2011に参加して】

夏になると、テレビやニュースで打ち水の場面をよく見ますが、自分が実際に体験してみて、電気やガスを使わない自然の涼の心地よさを知ることができました。

今、節電・節水をすることを叫ばれていますが、打ち水で使用した水は、雨水なので、無駄に水を使わずにすみます。打ち水前に39度あった気温が34度と、5度も気温が下がりました。これは、電気やガスを使っているわけではなく、節電にもつながっています。そして暑すぎず、寒すぎず、自然の涼しさが味わうことができました。



この猛暑をしのぐためにも、東北地方の方々のためにも、みなさん、打水でいっしょに、節電をしましょう。

【S・Tさん 中学1年生】

イベントのお知らせ

環境フェスタin太宰府「まほろばのもり」

10月30日(日) 10時～16時

太宰府市民の森にて 雨天決行・荒天中止

「森と手をつなごう」をテーマに、地球環境から生活環境まで私たちの暮らしの周りにある様々な環境について、楽しく学び・体験することで、太宰府の新しいムーブメントを作るきっかけとして開催するものです。詳細は、検討中です。おたのしみに。



御笠川クリーンデイ

11月5日(土) 9時～12時

太宰府市役所東側玄関集合



「川遊び」…といった気
楽な気持ちで、「ご参加
下さいね。」

このたび6月16日(木)から24日(金)までの間、多賀城市支援に行っていました。東日本大震災発生後、被災された方々や崩壊した街の様子を見聞きするたびに、何ができるのか、何かしなければ、という焦りにも似た思いを募らせていました。そして、微力ながらも「仁」人としての温もりを被災された方々にお配りしようという思いで派遣を希望しました。飛行機が仙台空港に着陸する時に、滑走路の両脇に津波で流され押しつぶされた車が、延々と積み上げられている光景が視界に飛び込んできたと同時に、宮城県にきた事を実感して、一抹の不安がよぎりましたが、自分に喝を入れ直して、一路、多賀城市へ向かいました。

総合相談窓口に就かせていただき、罹災証明書の交付申請や、義援金・支援金給付申請の受け付け、仮設住宅の案内などの業務に従事しました。東北弁に戸惑いながらも、全国から駆け付けられた他県・他市町村の職員の方々と共に汗をかいて、やりきれない思いで涙ぐみ、そして、お互いに肩を借り、背中を貸し合った多賀城市での9日間のことを決して忘れません。震災は、まだ終わってはいません。たくさんの方々のお話を伺いながら、ハード面は復旧しつつあると感じましたが、ソフト面はこれからが始まりで、自分たちに出来る事を続けることが必要だと思いました。これから日常業務の中でも多くの困難なケースに直面するかもしれませんが、あの日々の気持ちを忘れず、自身の健康に留意しつつ、逃げ出したり投げ出したりせず、ありのままの自分で生まれ育った故郷、太宰府市に時間がかかろうとも少しずつご恩返ししようと決意を新たにしました。

最後になりましたが、快く多賀城市へ送り出してください、派遣期間中に業務をフォローしていただいた職場のみなさま方、また、現地で様々なご支援・ご助力を賜りました皆様方に、この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。皆様、ありがとうございました。

講座案内

日時	講座名	講師等	参加・資料代
10/8(土) 14:00~16:00 206・207号室	カウンセリング基礎講座第4回 「他人のストレスと付き合い方」	吉田 久美子さん	100円
11/12(土) 210号室	地域支援コーディネーター育成講座 中級・第4回 10:15~11:45 初級・第4回 14:00~16:30	吉田 久美子さん	500円
10/22(土) 11/19(土) 15:00~17:00 208号室	災害ボランティア研修会	10/22 太宰府市職員(事務職と文化財技師) 11/19 ボーイスカウト筑紫 第2団ベンチャー隊	無料
11/20(日) 13:00~16:00 208号室	実践講座 遺言「やさしい遺言の話」	中村 哲示さん 藤林 陸紀さん	無料

申し込み・問い合わせは「太宰府市NPO・ボランティア支援センター」をお願いします。

太宰府市五条三丁目1番1号 いきいき情報センター 1階

平日 10:00~18:00 土・日曜日 12:00~18:00

(休業日 毎週水曜日、祝日、8月13日~15日、12月28日~1月4日)

電話 092-918-3633 ファックス 092-918-3644

E-mail dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

HP <http://www4.ocn.ne.jp/~volusen/>

